



新潟県の経済情勢報告

令和 8 年 8 月 5 日
財務省関東財務局
新潟財務事務所

お問い合わせ先
関東財務局新潟財務事務所財務課
電話番号 025-281-7503

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）8年7月判断は、前回8年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、横ばいの状況にある。雇用情勢は、改善に向けたテンポが緩やかになっている。

【各項目の判断】

項 目	前回（8年4月判断）	今回（8年7月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直している	
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	
雇用情勢	改善に向けたテンポが緩やかになっている	改善に向けたテンポが緩やかになっている	
設備投資	7年度は増加見込みとなっている	8年度は増加見込みとなっている	
企業収益	7年度は増益見込みとなっている	8年度は減益見込みとなっている	
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	「下降」超幅が縮小している	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額、乗用車新車登録届出台数は前年を上回っている。宿泊や飲食サービスは、持ち直している。このように個人消費は、持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 物価上昇に伴い、一品単価が上昇するなか、販売点数が横ばいで推移しているため、売上高が上昇している。低価格帯のPB商品が売れるなど節約志向がみられる一方で、週末やGWなどの特別な機会には高価格帯の刺身が売れるなど、メリハリのある消費行動がみられる。(百貨店・スーパー)
- エアコンの省エネ基準厳格化に伴う駆け込み需要により、4、5月はエアコンの売上げが大きく伸長し、全体の売上げを牽引したが、6月以降は反動減がみられている。付加価値の高い商品が選好される一方で、海外製の低価格帯の商品も販売を伸ばしており、消費の二極化が進んでいる。(家電量販店)
- 物価高に伴い、消費が大容量品やPB商品などヘシフトする傾向が続いているほか、中東情勢の影響により、ゴミ袋やラップ、炊事手袋などのナフサ由来製品を多めに買い求める動きがみられる。また、化粧品は低価格帯の商品の販売が好調であり、全体の売上げは前年比で増加した。(ドラッグストア)
- 塩化ビニル製品は中東情勢の影響により、入荷状況が芳しくないなか、入荷すれば売れる状況のため品薄状態となっている。園芸用品は前年より気温が高く、雨が少なかったため、販売が好調であった。(ホームセンター)
- 環境性能割の課税が3月末に廃止された反動で、4月以降の売上げが増加している。改良モデル投入に伴う新規受注枠の拡大により、高価格帯の車種の受注も増加している。(自動車販売)
- 物価高に伴い、宿泊料金は上昇しているものの、コンサートをはじめとする各種イベントが毎週のように開催されたことが需要を押し上げ、宿泊客数及び売上高は増加した。(宿泊)

■ 生産活動 「横ばいの状況にある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、食料品、化学、電気・情報通信機械は低下しているものの、汎用・生産用・業務用機械は上昇しているほか、金属製品、輸送機械は横ばいで推移している。全体としては、横ばいの状況にある。

- 物価高で消費者の節約志向が強まるなか、値上げの影響もあり、販売数量が落ちているため、生産量が減少している。(食料品)
- AIデータセンター関連の需要が高まるなか、在庫を持つようにしたことから、生産量が増加している。(生産用機械)
- 完成車メーカーの中東での販売が落ちているとのことだが、当社製品の生産への影響はみられず、GWで稼働日数が減少したことを除けば、生産量は概ね前期比で横ばいである。(金属製品)
- 現地メーカーとの競争激化により、中国向けの受注が減少するなか、関税の影響が落ち着いたことで、米国向けの受注が回復しているため、生産量は増加している。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「改善に向けたテンポが緩やかになっている」

新規求人数は増加しているが、有効求人倍率は横ばいで推移していることから、雇用情勢は、改善に向けたテンポが緩やかになっている。

- 人手不足が深刻化しているため、採用人数を増やしたいが、獲得競争が激化しており、厳しい状況である。人手不足対策の観点からも、自動化・省人化に取り組んでおり、梱包作業の自動化やAIを活用した外観検査を進めている。(製造)
- 従業員数に不足感はないが、中堅層が少ないため、今後、シニア層の定年退職が増え、十分な現場経験が必要な工事現場代理人の勤まる人材が不足し、仕事が滞ることを懸念している。そのため、定年再雇用制度の導入のほか、人材育成に注力している。(建設)

■ 設備投資 「8年度は増加見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 8年度の設備投資計画をみると、製造業では前年比24.6%の増加見込み、非製造業は同23.4%の増加見込みとなっており、全産業では同24.0%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「8年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 8年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業は前年比18.4%の減益見込み、非製造業は同1.8%の増益見込みとなっており、全体では同6.1%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 景況判断BSIをみると、全規模では「下降」超幅が縮小している。先行きについては、全規模では8年7-9月期は「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅は前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 公共工事請負金額をみると、県は前年を上回っているものの、国、市町村は前年を下回っている。

新潟県の経済情勢報告

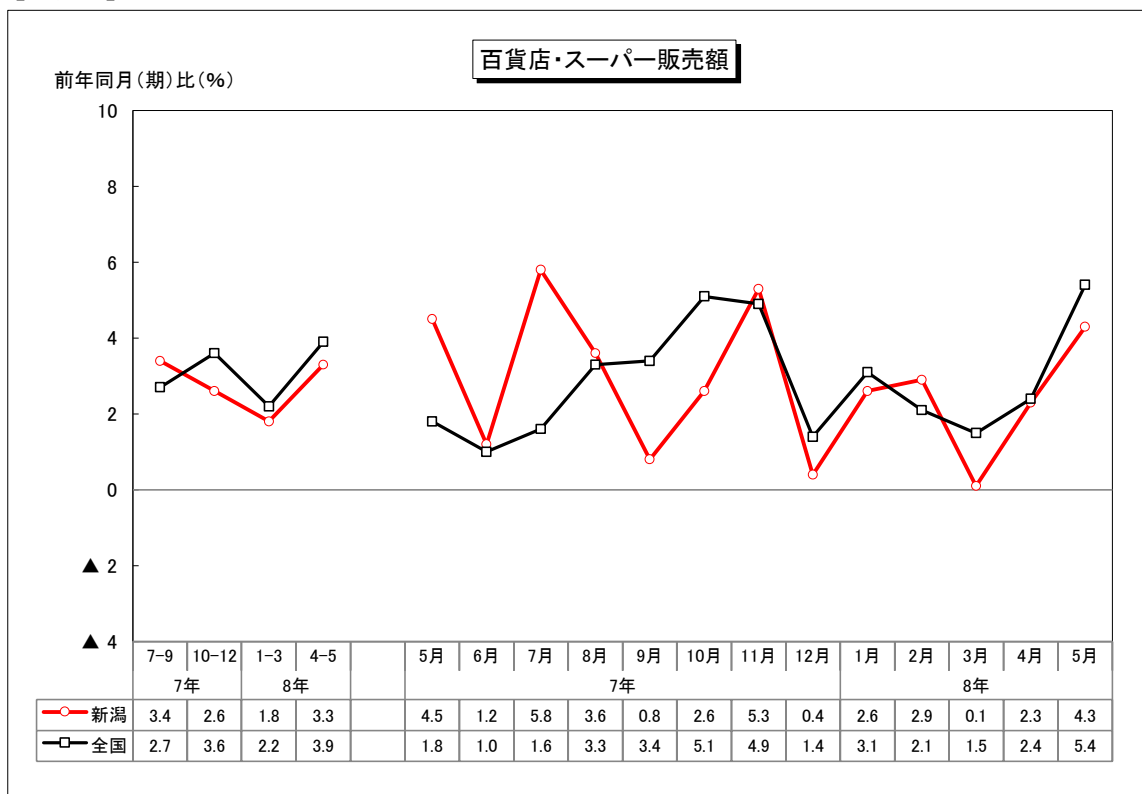
資 料 編

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 個人消費

持ち直している

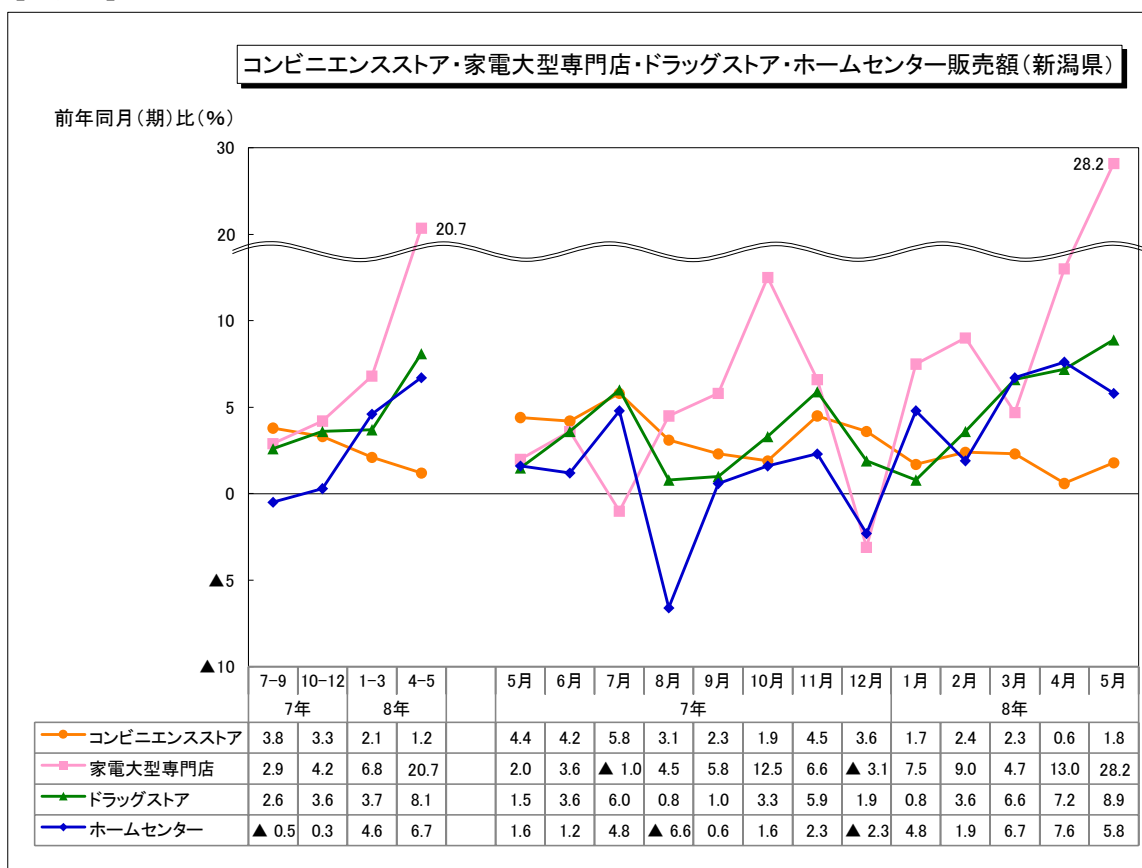
【グラフ1】



(注) 前年同月(期)比は全店ベース。

【経済産業省】

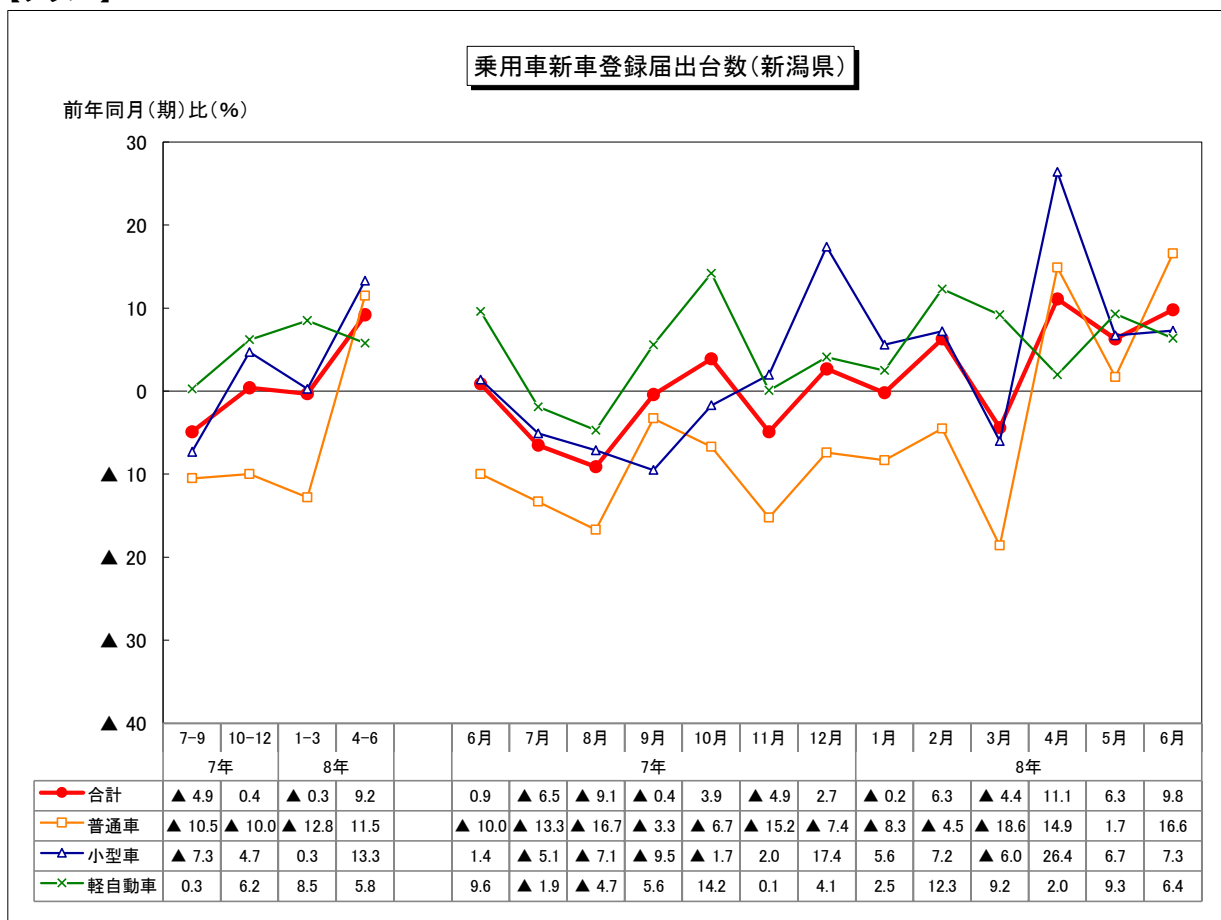
【グラフ2】



(注) 前年同月(期)比は全店ベース。

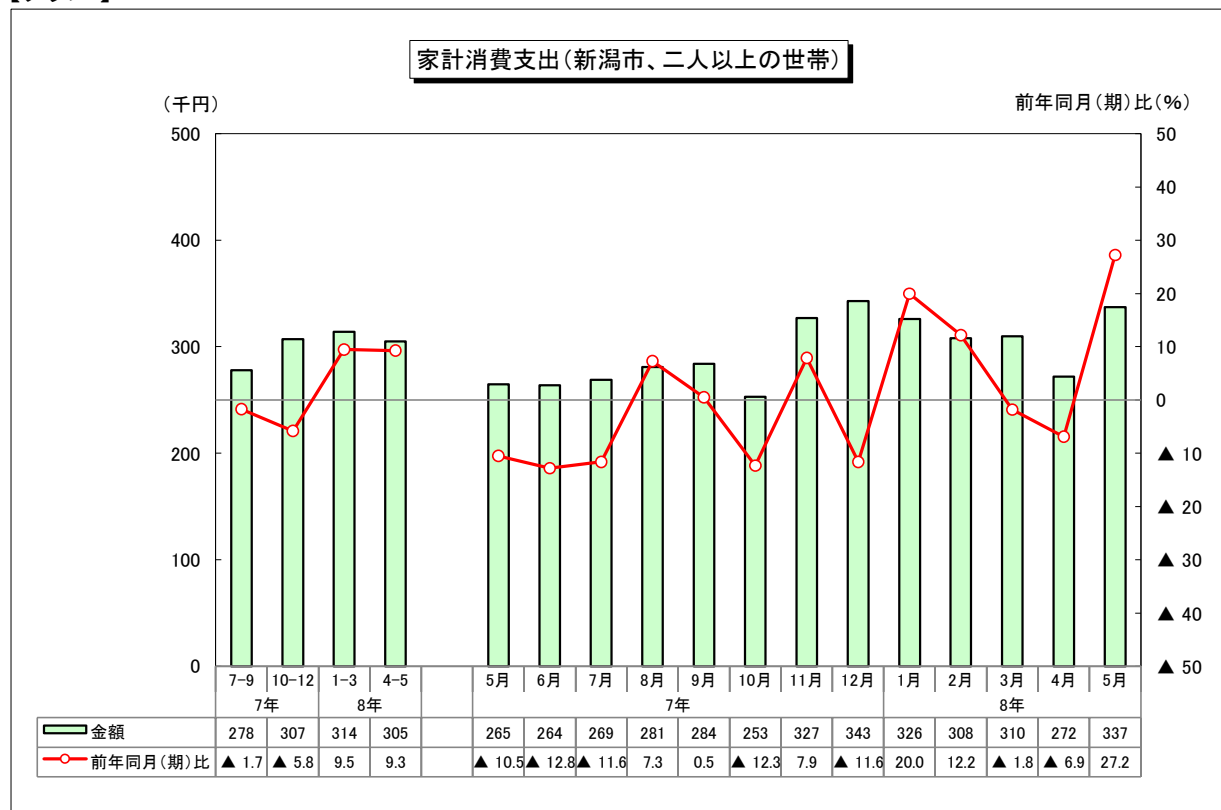
【経済産業省】

【グラフ3】



【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

【グラフ4】

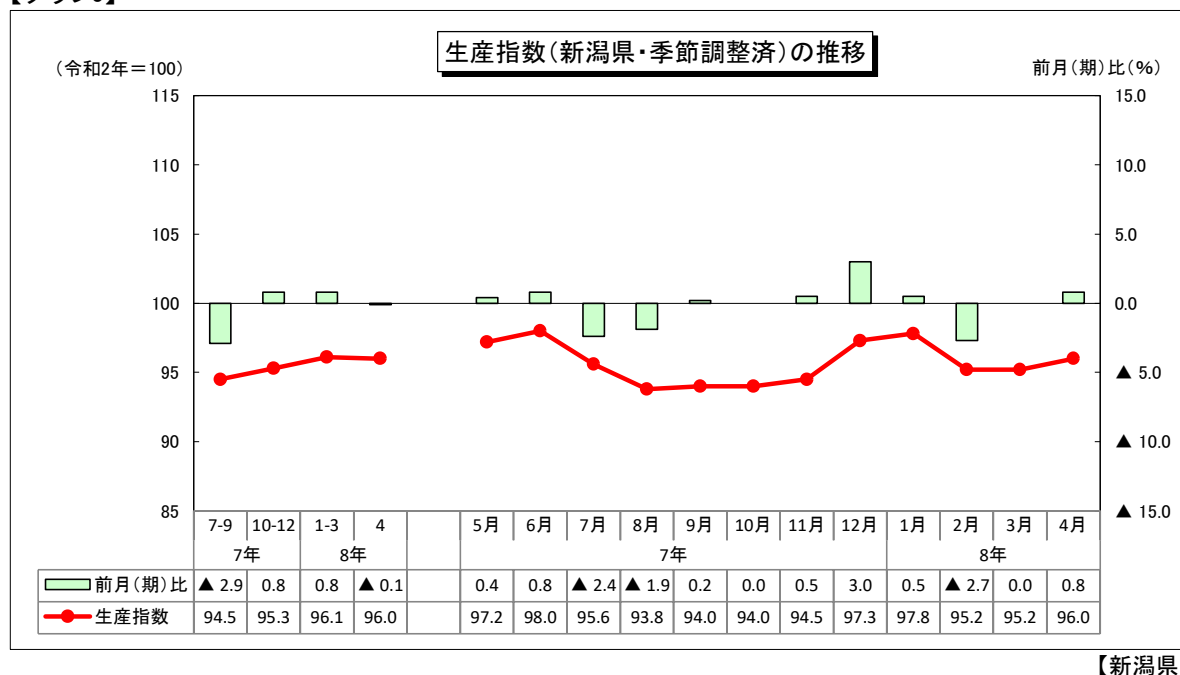


【総務省】

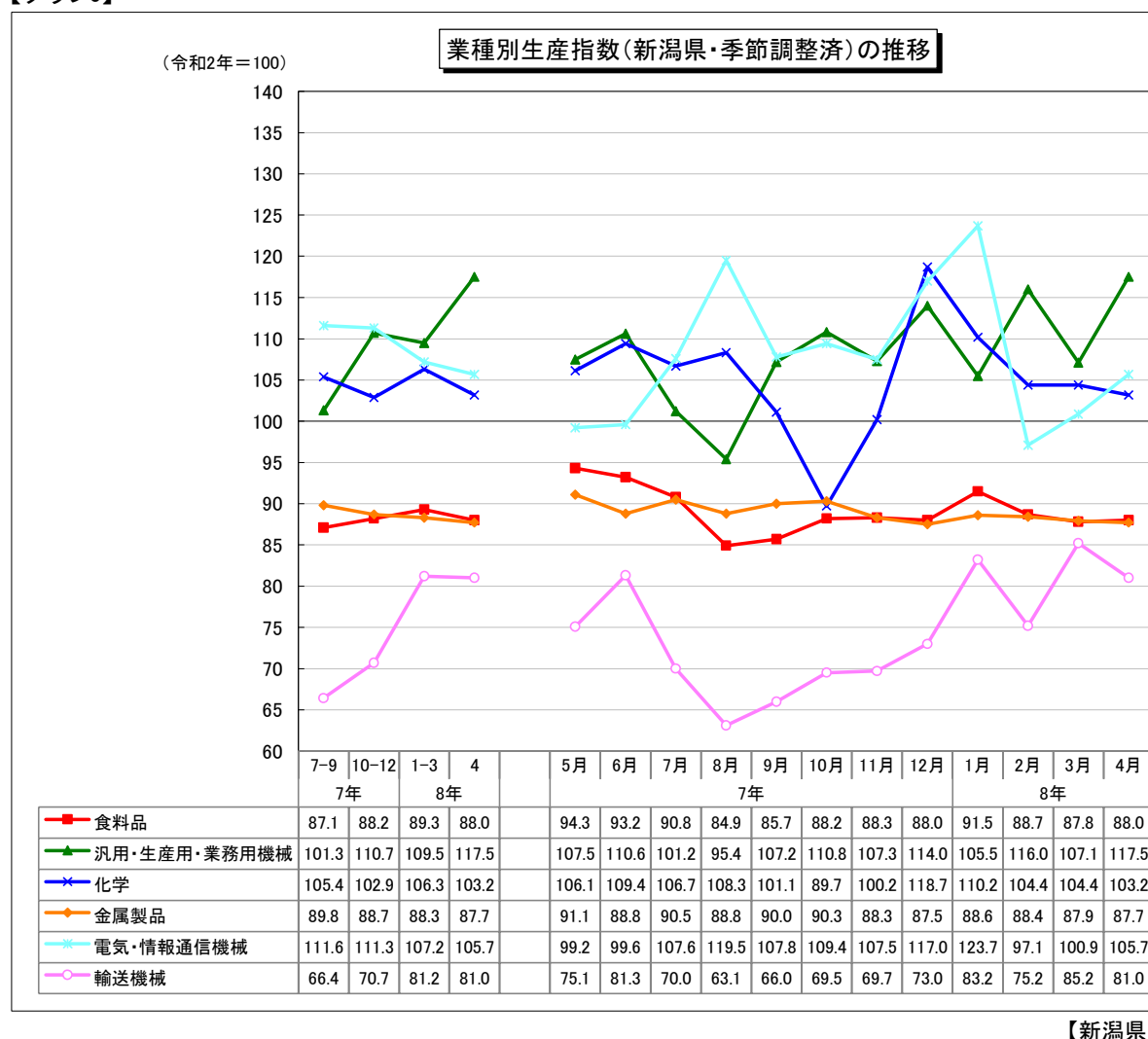
2. 生産活動

横ばいの状況にある

【グラフ5】



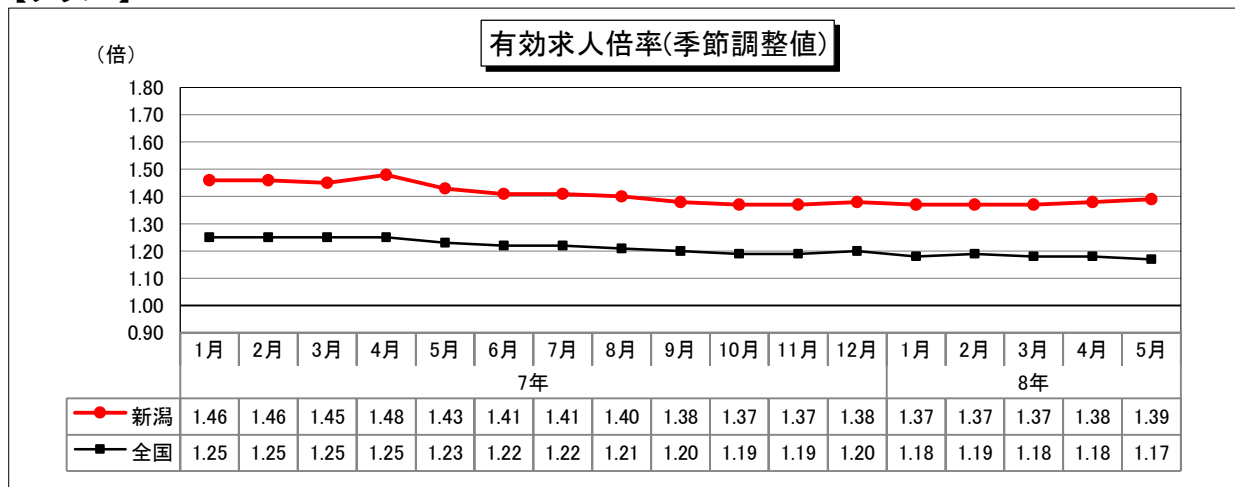
【グラフ6】



3. 雇用情勢

改善に向けたテンポが緩やかになっている

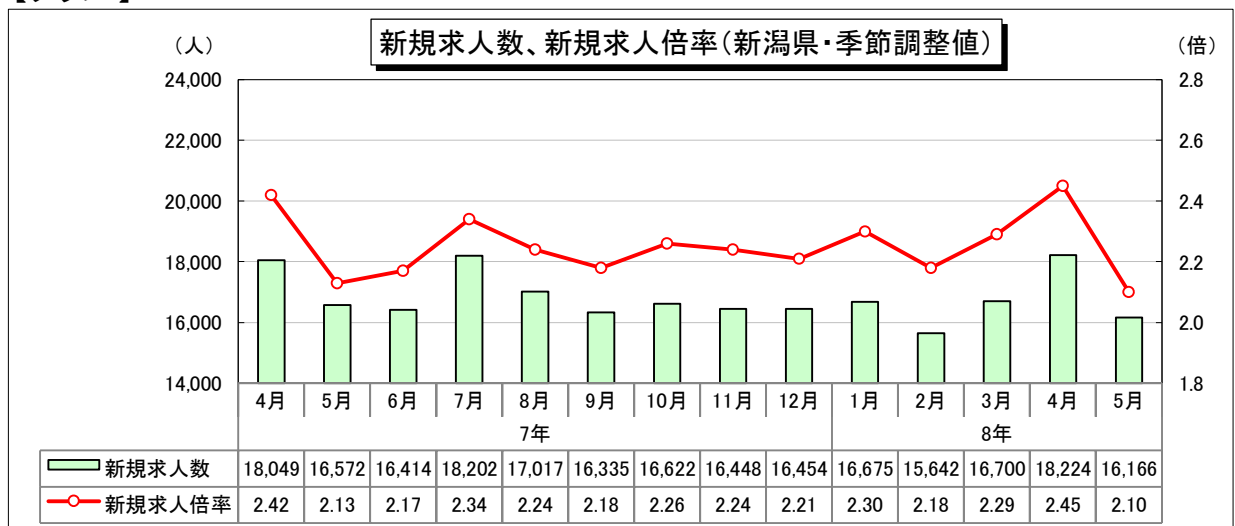
【グラフ7】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

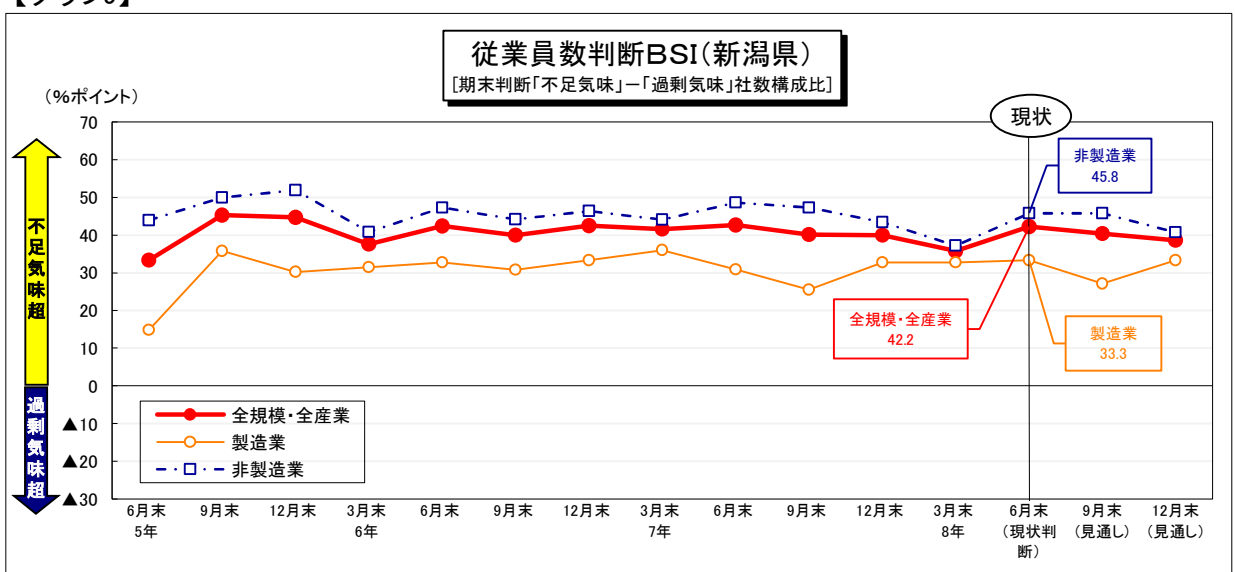
【グラフ8】



(注)パートを含む。

【厚生労働省】

【グラフ9】

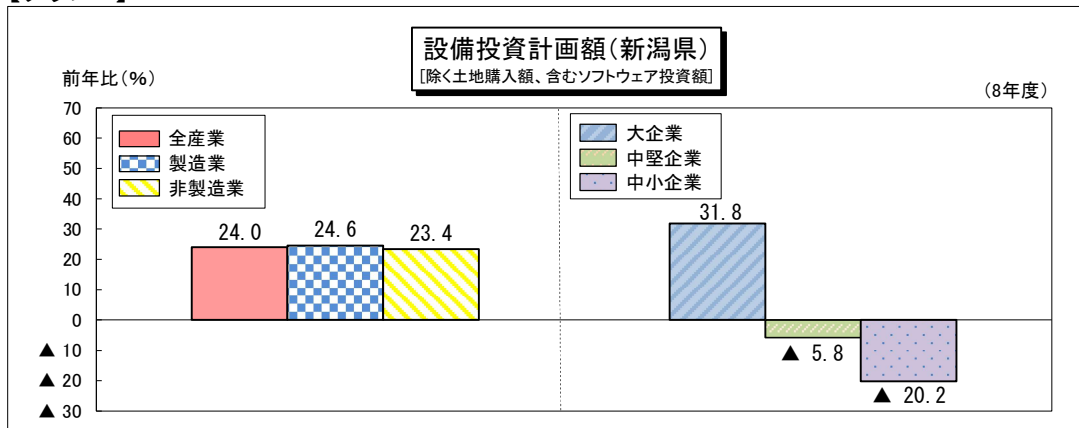


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

4. 設備投資

8年度は増加見込みとなっている

【グラフ10】

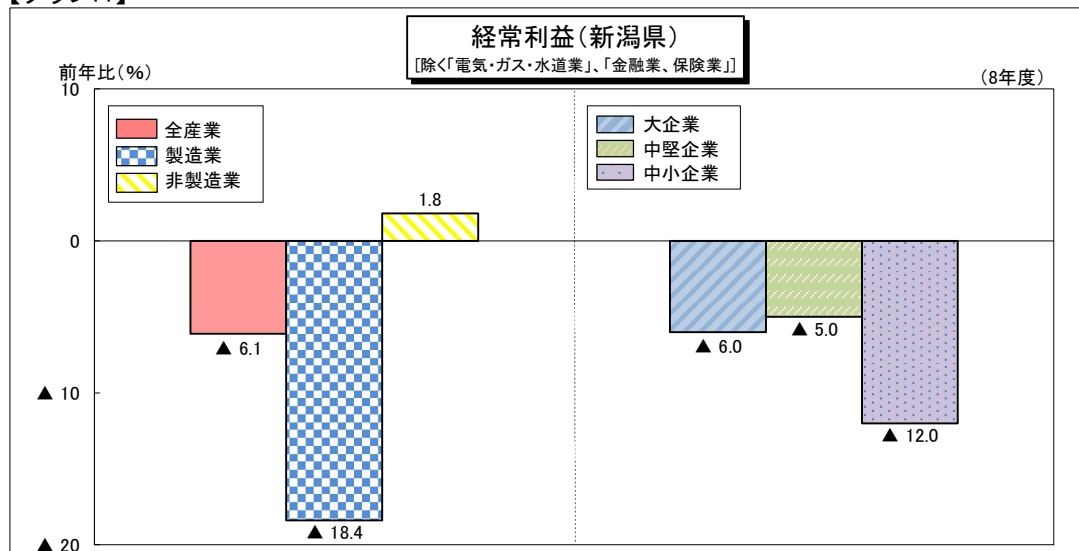


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

5. 企業収益

8年度は減益見込みとなっている

【グラフ11】

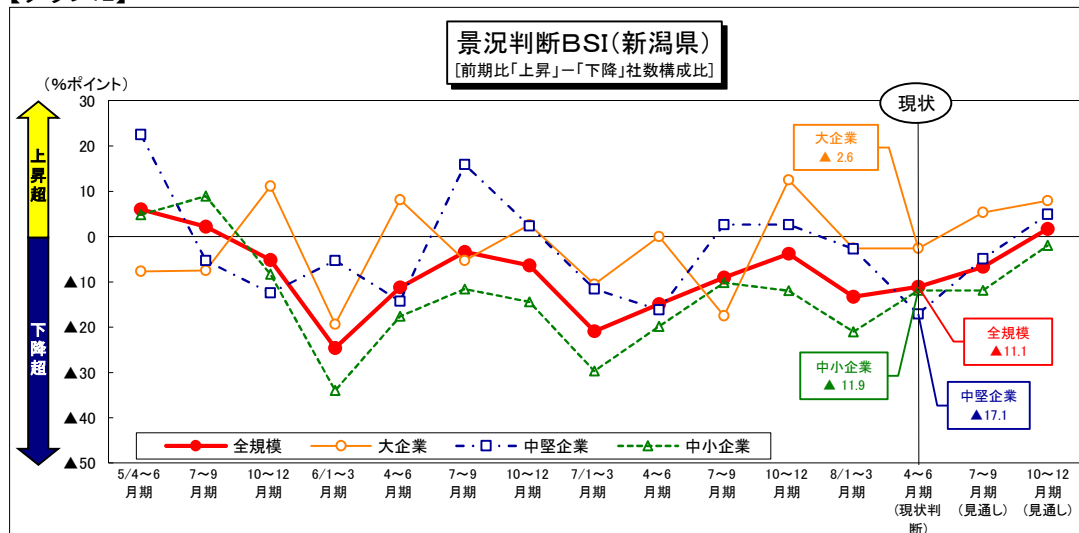


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

6. 企業の景況感

「下降」超幅が縮小している

【グラフ12】

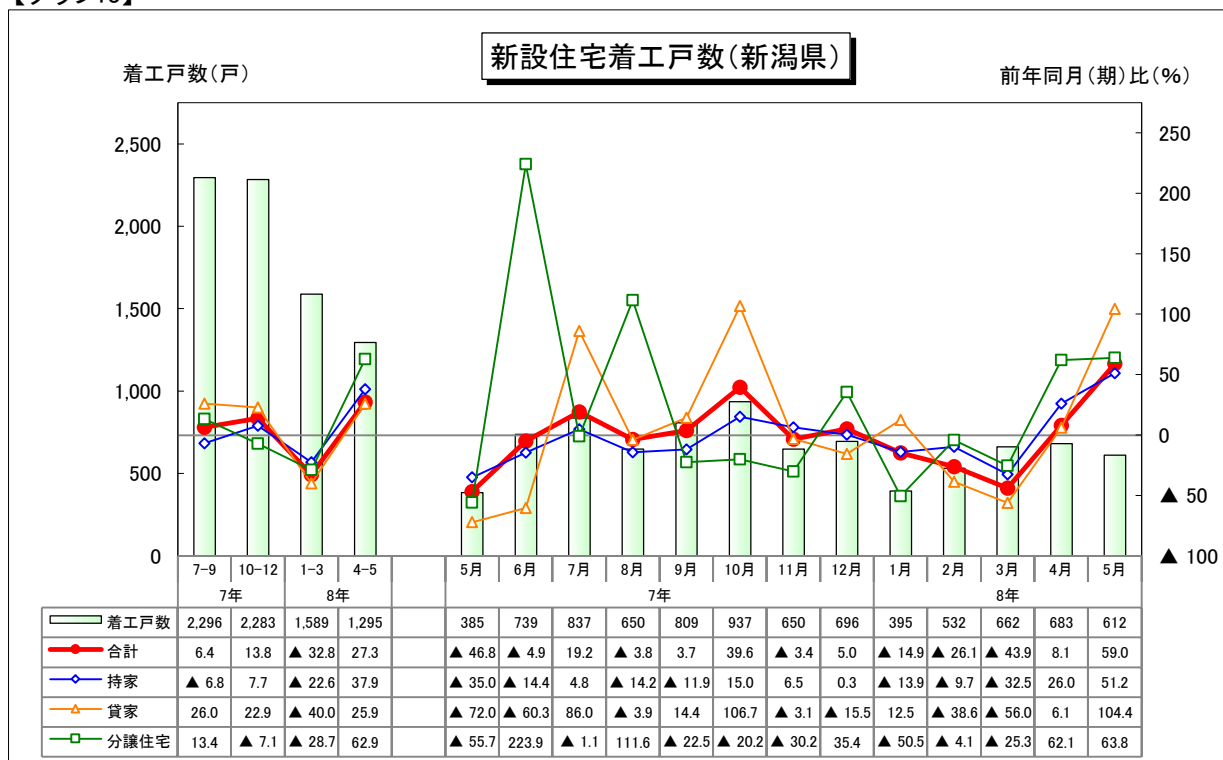


【新潟財務事務所(法人企業景気予測調査)】

7. 住宅建設

前年を上回っている

【グラフ13】

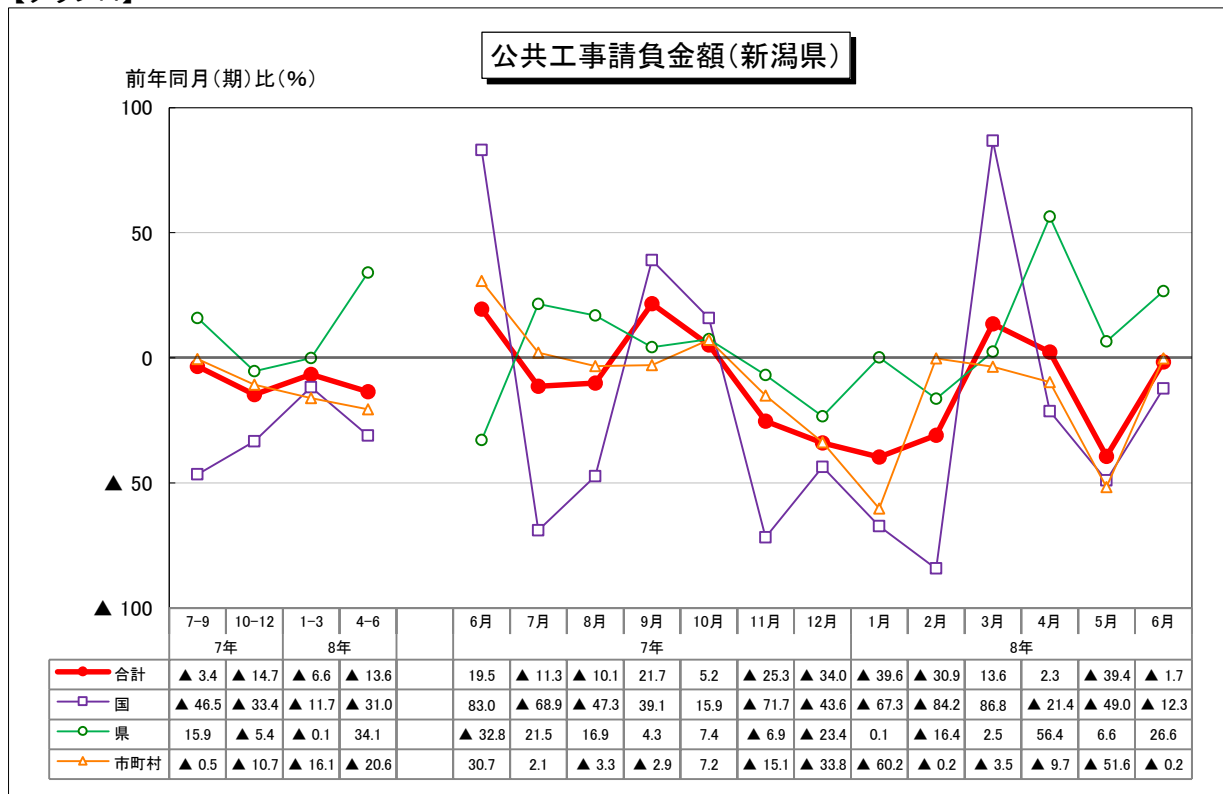


【国土交通省】

8. 公共事業

前年を下回っている

【グラフ14】

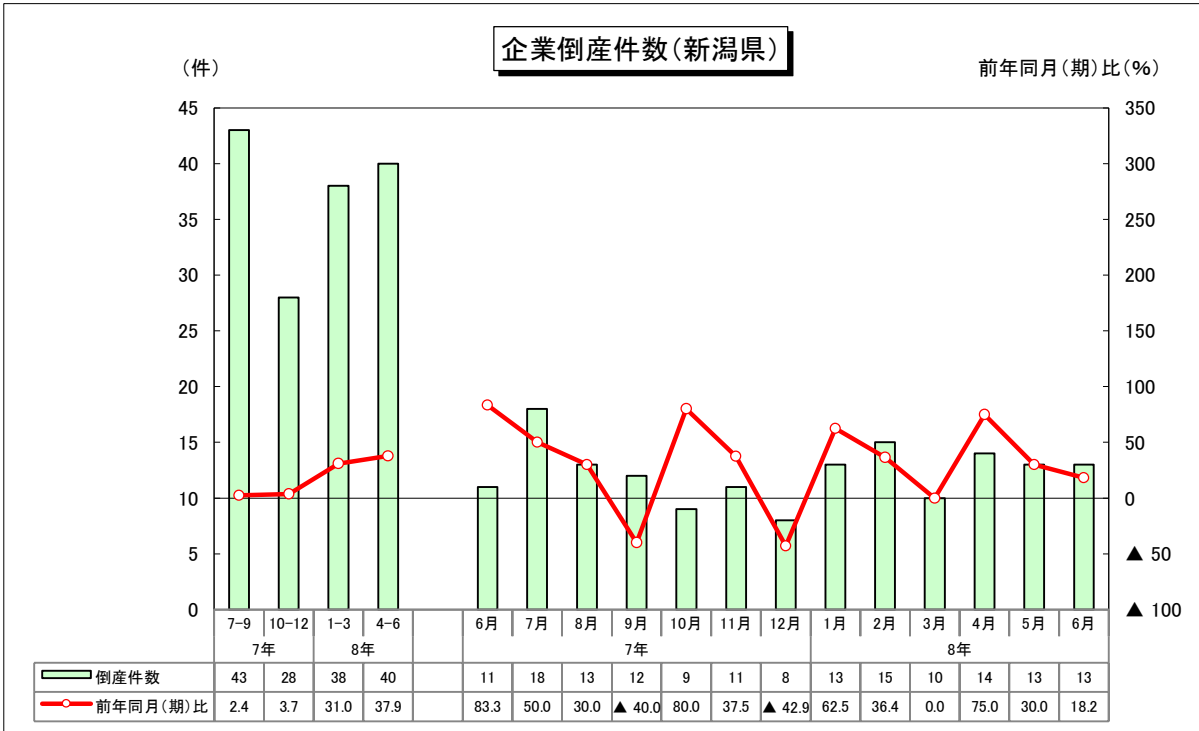


【北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱】

(参考) 企業倒産

倒産件数は前年を上回っている

【グラフ15】



【東京商エリサーチ】